

平成 21 年 8 月 31 日修正版

日本活断層学会「2009 年度秋季学術大会」・
「平成 19 年(2007 年)新潟県中越沖地震 2 周年シンポジウム」のお知らせ

日本活断層学会秋季大会実行委員会

「2009 年度秋季学術大会」および「平成 19 年(2007 年)新潟県中越沖地震 2 周年シンポジウム」を下記要領で開催致します。多数のみなさまのご参加をお待ちしています。

記

1. 開催日時：

11 月 7 日（土曜日）13:30～18:00 「新潟県中越沖地震 2 周年シンポジウム」

18:30～20:30 懇親会

11 月 8 日（日曜日）9:00～17:00 「秋季学術大会」研究発表（口頭，ポスター）

2. 場所：東洋大学（文京区白山） 1 号館 地下 1 階 1B14 教室

最寄り駅：都営地下鉄三田線「白山駅」徒歩約 8 分，東京メトロ南北線「本駒込駅」徒歩約 8 分：http://www.toyo.ac.jp/access/hakusan_j.html

3. 参加費：会員 1,500 円，非会員 2,000 円

当日，受付でお支払い下さい（予稿集代込み，なお予稿集は秋季大会とシンポジウムの合本となっていますのでご了承下さい）。法人会員の方は所定の人数分，会員の会費で参加いただけます。

なお，非会員の方は翌 8 日の秋季大会にも参加できます。

4. 「2009 年度秋季学術大会」研究発表の申し込み

申し込み締切：9 月 30 日（必着）

5. 「2009 年度秋季学術大会」研究発表の申し込み方法：予稿集原稿（PDF ファイル）を添付して下記アドレスに電子メールで送付して下さい。その際，メール本文に以下の内容を明記して下さい。

- 1). 発表代表者氏名・所属
- 2). 連絡先（住所・メールアドレス）
- 3). 発表題目

- 4) 発表種別 (口頭, ポスター)
- 5) 使用機器 (液晶プロジェクターまたは OHP)

※なお、発表種別については、時間および会場スペースの関係で変更をお願いする場合があります。

また、使用機器については、ご希望に添えない場合もありますので、ご了承下さい。

6. 予稿集原稿について

1) 執筆要領

- a. 1 件の発表につき、A4 サイズ 2 ページ以内とします。
- b. レイアウト余白は、用紙縦置きの場合、横書きとし、左右各 2.5cm, 上端 3cm, 下端 3.5cm とします。
- c. 内容は、上から「和文タイトル」「和文著者名 (所属)」「英文タイトル」「英文著者名」「本文」の順とし、「和文タイトル」と「和文著者名」は中央揃えとして下さい。また「英文著者名」と「本文」の間は 1 行分の空白をとって下さい。なお、本文が英文の場合は、「英文タイトル」「英文著者名 (所属)」「本文」の順とします。
- d. フォントはタイトルのみゴシック体 14 ポイント、その他は明朝体 11 ポイントを基本としますが、適宜変更していただいても結構です。
- e. 図、写真の挿入は可能ですが、印刷仕上がりはモノクロとなります。

2) 審査

公序良俗に反する内容、他人を誹謗中傷する内容、その他日本活断層学会学術大会にふさわしくないと認められる原稿については、受付を拒否することがあります。

3) 著作権について

投稿いただいた原稿の著作権については、日本活断層学会の著作権規程に従い、日本活断層学会に帰属するものとします。

4) 発表申し込み先・予稿集原稿送付先

日本活断層学会 2009 年度秋季大会実行委員会

e-mail: jsaf-2009fall@m.aist.go.jp

5) プログラムの発表

プログラムは、10 月上旬に発表代表者に連絡いたします。また、決定次第、会員 ML とホームページで発表の予定です。

7. 「平成 19 年（2007 年）新潟県中越沖 2 周年シンポジウム」について

11 月 7 日 12:30 受付開始, 13:30 開始~18:00 終了

主催：日本活断層学会

後援：地震学会および地震工学会

8. シンポジウム開催趣旨：

柏崎刈羽原子力発電所で 1G を超える強震動が記録された新潟県中越沖地震については、これまでの調査研究から、震源断層や強震動生成メカニズム、原子力発電所における被害などが明らかとなりつつある。これらの問題に関して共通理解も進みつつあるが、必ずしも同様な理解が得られているとは言い難い部分も残されている。とくに、活断層と震源断層との関係については検討すべき問題が残されていると考えられる。

本シンポジウムでは、これまでの調査解析から共通理解が得られつつある分野のレビューから始め、活断層と震源断層との関係についての発表・討論を通じて見解の差異についての共通理解を目指す。さらに今後に向けて、活断層における強震動評価の高度化について課題を提示する。

9. プログラム

	開始時間	時間配分	内容	講演者等(敬称略)	
挨拶	13:30	0:05	趣旨説明	実行委員長・副会長	島崎邦彦
パネリスト1	13:35	0:30	地殻変動からみた地震像	国土地理院主任研究員	西村卓也
パネリスト2	14:05	0:30	震源過程と強震動	東京大学地震研究所教授	瀬戸一 起
パネリスト3	14:35	0:30	原子力発電所と被害	首都大学東京名誉教授	西川孝夫
	15:05	0:10	休憩		
パネリスト4	15:15	0:30	海域の活断層の認定1	産総研活断層・地震研究センター長	岡村行信
パネリスト5	15:45	0:30	海域の活断層の認定2	東洋大学教授	渡辺満久
パネリスト6	16:15	0:30	活断層評価と重要構造物の安全性	京都大学名誉教授	入倉孝次郎
	16:45	0:10	休憩		
全パネリスト	16:55	1:00	総合討論	司会・実行委員長	島崎邦彦
挨拶	17:55	0:05		日本活断層学会会長	岡田篤正
終了	18:00				

1 0. 懇親会：11月7日（土） 18:30 開始～20:30 終了

東洋大学 6 号館地下食堂

秋季学術大会の後ではなく、前日のシンポジウム後に開催します。ご注意ください。

1 1. 懇親会費（予定）：6,000 円，学生 3,000 円，シンポジウム講演招待者無料

※懇親会につきましては、参加人数把握のため、事前申し込みにご協力をお願い致します。参加希望者は、氏名、所属、連絡先メールアドレスを、実行委員会アドレス（発表申し込み先と同じ）に電子メールでお送り下さい。締切は9月30日とします。人数に余裕がある場合は、当日参加も受け付けます。なお、非会員の方で参加ご希望の場合も、事前登録をできるだけお願い致します。当日申込は会員が優先されます。会費については、決定次第ホームページで公開の予定です。ご了承下さい。

1 2. お問い合わせ

日本活断層学会 2009 年度秋季大会実行委員会

e-mail: jsaf-2009fall@m.aist.go.jp